



# 休校続き たまるストレス



学校現場から

東京都三鷹市立

南浦小学校

政府の要請で3月上旬に一斉休校が始まってから2か月。まだ学校再開は見通せない。

4月28日、5年の担任教員4人が職員室などで、クラスの子供たちの自宅に電話をかけていた。一人ひとりの健康や学習の状況を確認するためだ。

「話し相手がない。このまま電話していたい」

ある児童の言葉に、教員は胸

クラスの児童の自宅に電話する教員(4月28日)



が痛んだ。保護者からは「ささいなこと、兄弟げんかをする」「子供がイライラしている」といった声が目立つ。休校が続き、ストレスがたまっていることがうかがえた。

一方で、入学式の1日しか登校していない1年生の保護者からは「そもそも自分が小学生に

なった意識がないようだ」といった不安も漏れた。

こうした中で、学校再開に向けた準備も始まっている。

再開後、学習の遅れを取り戻すため、1学期中は始業前の15分間を週3回授業として使う。

1年を通じて、土曜授業を月2回実施する。そんな計画も検討している。藤原和彦校長(56)は「子供たちに過重な負担をかけないように計画を立てて、しっかり学習の機会を確保したい」と話した。

## 各教科の要点 ネット解説へ

江戸川区立

二之江中学校

約590人の生徒の家庭に4月27日、学校から一斉メールが流れた。

「臨時休業延長のお知らせ」だった。

緊急事態宣言は5月6日に期限を迎えるが、区教委からの連絡で7、8日は休校が続くことになった。土日曜を挟み、週明けの11日以降はどうなるか不明だ。

「学習の遅れを考えれば、早急に再開できる」といい。でも、都内の感染者がこれだけ多い状況

況では、安全上、休校延長はやむを得ません」。茅原直樹校長(59)はそう語った。

学校では、自宅待機が続く生徒の家庭学習を支援するため、教員が各教科のポイントを数分程度で解説する動画をインターネット上で配信することにした。

限られた機材でどんなものを作れるか。在宅勤務中の教員らも検討している。また、区教委と協力して、新入生向けに校歌をネット上にアップし、聴けるようにしたいという。

休校の長期化で、自宅に電話を入れてもなかなか連絡が取れない生徒が始めている。1週間、生徒とも、その保護者とも話せなかった教員が家の周辺を見に行ったこともある。「今の大きな心配事」(茅原校長)になっている。

休校が続く東京都内の小中2校を記者が訪ね、随時リポートします。



生徒の家庭にメールで送付された「臨時休業延長のお知らせ」



# 「時代の証言者」の使命感

伊藤久美子さん 54

(東京の聖ドミニコ学園  
中学・高校国語科教諭、  
高校1年の担任)



期待していた大型連休明けの入学式も、5月末までの休校延長でかきまわりました。高校の学習レベルは高いので、本来なら丁寧に寄り添って励まし、中学生気分からの「早期脱皮」を促すはずでした。でも、今は、タブレット端末を通して教材を家庭に配信する

## 先生から キミたちへ

お元気ですか。休校になってからもう2か月。先生たちも経験したことのない



## 高く跳ぶための準備

菊地 青佳さん 23

(千葉県市川市立宮久保  
小学校教諭、3年の担任)

日々で、とても驚いています。毎日勉強していますか。運動や息抜きはできていますか。

先生はみんなが学校に来る日のために授業などの準備をしています。先生は家にいる時はつい食べ過ぎてしまいます。時々、みんなと練習した運動会のダンスを踊ったり、音楽会や6年生を送る会で披露した大好きな歌を歌ったりして、運動不足やストレスを解消しています。ぜひみんなも家で取り組んでみてください。

しょう。新高校1年生は39人。一人ひとりの活躍に期待を寄せています。

私はひそかに「SDH(Saint Dominic high school)39」と銘打ち、在籍中、全員に一度は「センター」を務めてもらう心積もりでいます。今から自分の才能を伸ばし、晴れの舞台に備えてね。

## 心に栄養 声かけ合おう

宮本智史さん 38

(茨城県立水戸農業高校  
畜産科教諭、生徒指導主事)



だと思えます。元気で明るい未来が絶対に来ています。だからこの状況を乗り切りましょう。みんなが会える日を楽しみにしています。

を「かけ合おう」です。

皆さん生徒と私たち教職員を合わせて約1000人。みんなが「声」を「かけ合おう」ことを意識しましょう

皆さんは言葉の力を信じますか？ 私は、言葉には大きな力があると思っています。体の栄養として食事を取るように、心にも栄養が必要で、その心に栄養を与えるのが言葉なのです。休校が続く今、言葉の力を借りて水戸農業高(校)を盛り上げよう、先生たちで「水戸合言葉」を考えました。その一つが「声かけ合おう」です。直接会話をすることが難しい時は、皆さんが得意なSNSやLINEなどを活用してもいいですね。ポジティブな気持ちでみんなが声をかけ合い、学校が再開したら、元気ある学校を取り戻していきましょう！

# 学が育む

## ■口数少なく

授業でも「3密」対策は徹底されている。  
30人ほどの各クラスは、出席番号で2グループに分け、教室を別々にする。  
授業が少人数に分かれる分、一人一人の教員が受け持つ時間数は増加し、負担が増すという。  
各教室では、生徒は前後左右に1席ずつ間隔を空けて座り、校庭側の窓と廊下側の出入り口はすべて開けている。  
授業中、飛沫を防ぐため、生徒が発言する機会は少なかつた。



3年生の英語の授業。ペアで英文を読み合うときも距離を取る（19日午前）

## ■進路指導に遅れ

徒もマスクを付け、ペアで発音練習をするときは距離をとる。そのため、声が聞き取りにくく、盛り上がりもさびしくつた。  
ある男子生徒は「授業は全体的に座って聞いている時間が長く、すごく疲れる」と言う。  
給食時も制約は多い。  
担任教員が事前に生徒の机を消毒し、間隔を空けて座った生徒は前を向いたまま食べ、会話は極力控える。約2か月ぶりの給食にもかかわらず、教室は静まりかえり、生徒からは「なんか食べた気がしない」という声も漏れた。

内藤雅伸校長(59)によると、3月3日から続いた休校で失われた授業時間は44日分以上と、このうち、今年度に入ってから31日分は、夏休み(7月21日～8月27日)の約20日間の短縮、土曜授業の実施、生徒会主催のレクリエーションといった学校行事の削減などで補う予定だ。

この3月、近隣の県立高校から入試担当者を招いて開催予定だった進路学習会は中止になった。

長期の休校で3年生には進

## 授業に制約 \* 受験へ募る不安

路指導も十分にできておらず、例年7～8月に予定される県立高校の「1日体験学習」を前に、まだ志望校を絞り込める状態になっていない。  
男子生徒の一人は「学年の変わり目で休校になり、受験生としての実感がわかない」と語る。別の女子生徒は「模試や英語の民間試験などを受けられず、自分の学力がどのレベルなのかわからない。高校受験がものすごく不安」と打ち明けた。

3年の学年主任を務める長岡孝彰教諭(46)は「一気に各教科の内容を詰め込み、進路指導を急に進めても、子供たちの気持ちに寄り添うことが、学校再開後も、授業を補うために、教科によっては継続的に活用する見込みだ。」



家庭科の現代教諭が制作した課題の撮影動画

## ■動画の活用

鳥山中では休校期間中、教員が各教科の課題について解説した5～10分間の動画を制作し、動画投稿サイト「YouTube」で生徒と保護者が見られるようにした。  
学校再開後も、授業を補うために、教科によっては継続的に活用する見込みだ。  
今後、国語、数学、英語などの主要5教科以外は特に授業時間の確保が難しい状況だが、その成績は高校入試の内申点にも影響する。家庭科の田代百里恵教諭(41)は「例年は授業で扱う内容を家庭での宿題としてこなしてもいい」ともある。その際には動画をうまく活用してもらいたい」と話していた。(江原桂都)



# 学が育む

## 「コロナ」から守る

学校現場から

### 東京都三鷹市立 南浦小学校

本格的な学校再開に向けて、準備が加速してきた。

27日は、約50人の教職員が給食を配る模擬訓練を行った。

6月から各クラスの児童は「午前授業と給食」、「給食と午後授業」の2グループに分か



給食の配膳の流れを確認する教職員ら(27日)

### 給食も「分散」入念に準備

れる。

午前グループの児童が教室から順番に廊下に出て、教職員から給食を受け取る。教室で給食を食べた後は、すぐに下校する。教職員がすべての机を消毒する。入れ替わりで登校してきた午後グループの児童が給食を受け取り、教室で食べる。1年生だけは、教職員が教室の各児童の机に給食を運ぶ。こうした流れを、約1時間かけて入念に確認した。

通常の給食は、主食に主菜、副菜、汁物、牛乳、場合によってはデザートもつく。しかし、給食の時間に充てる90分間に午前、午後の2グループが食べ終わるように、当分は主に主食と主菜とし、水筒の持参を呼びかける。柴

養のバランスをとるように配慮するという。

6月からは正規の授業が始まる。休校中の家庭学習で、新学年の教科書に目を通すように指導してきただけで、子供たちの理解度を確かめながら、最初から進めていく。

藤原和彦校長(56)は「安全に気をつけながら、給食のスムーズな配膳や活発な授業づくりなど改善を続けていきたい」と話した。(渡辺光彦)

### 式に代えて入学祝う掲示

#### 足立区立

#### 江南中学校

6月1日の学校再開を前に、1年生の教室では、後方の黒板に12文字のパネルが掲示された。写真。

「入学おめでとう、さいます」教員らが手がけたカラフルな花の飾りも添えられた。1年生は、新型コロナウイルスによる休校措置で入学式もできなかった。4、5月は3回程度、「臨時登校」をしたが、教室で授業



を受けるのは初めてとなる。「どのような形であれ、子供たちが学校に来られることは

れしい」。水谷正博校長(57)は、学校再開が待ち遠しい様子だ。今後も感染防止は徹底しなければならぬ。

密集状態などを避けるため、6月1〜19日の約3週間は、学年ごとに登校日を分ける「分散登校」とする。1日に登校する生徒数を3分の1程度に絞り、各生徒の登校は週1、2回にとどまるという。

教室では、机と机の間隔を前後左右に2倍以上とする。給食も配膳時の感染リスクを考慮し、品数を減らした「簡易昼食」とする。

今年28日には校長や副校長、主幹教諭らが集まり、教育課程の見直しや学校行事の精選について話し合った。今年度は、体育のプール指導を実施せず、夏休みと冬休みを短縮して授業時間を確保することになりそうだという。(鯨井政紀)

東京都内の小中2校を記者が訪ね、随時リポートします。

# 字が育む

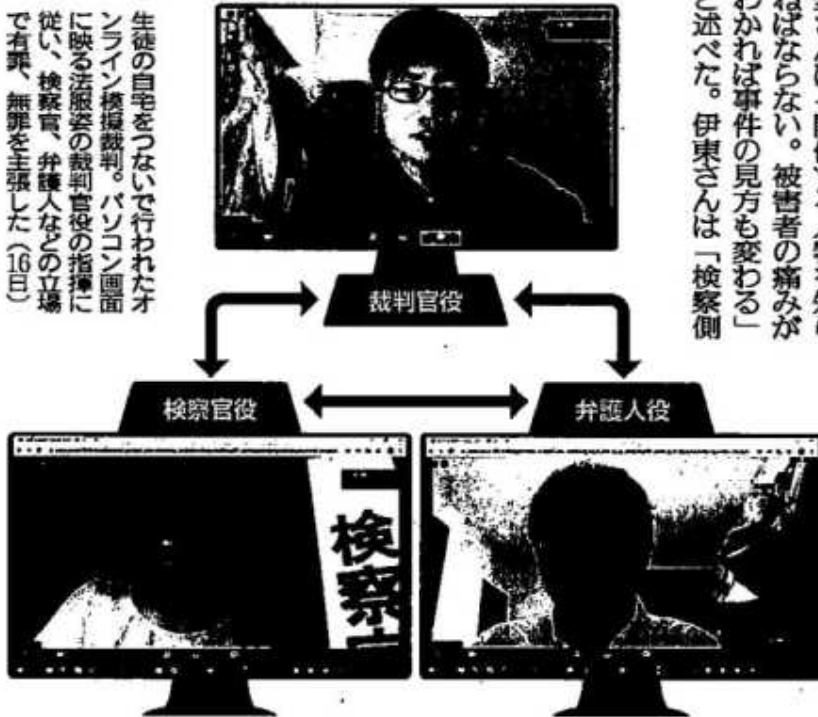
## 模擬裁判もオンラインで

京都府の立命館宇治高校は、新型コロナウイルスへの対応として模擬裁判をオンラインで行った。ビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」で在宅の生徒と遠方の専門家を結び、オンラインのメリットを生かした。

オンライン模擬裁判は、社会科担当教諭の杉浦真理さん(56)が呼びかけ、2、3年の約15人が参加した。模擬裁判に長年取り組む岡山市の岡山理科大准教授札基和男さん(57)、京都市に事務所のある弁護士伊東隆一さん(41)が講師を務めた。架空の窃盗事件を題材として5月に行われ、事前学習初日の5日は杉浦さんが刑事被告人の権利などを説明。札基さんと伊東さんは2日目の9日から加わった。札

### 立命館宇治高 在宅の生徒、専門家結ぶ

基さんは「関係する人物を知らねばならない。被害者の痛みがわかれば事件の見方も変わる」と述べた。伊東さんは「検察側



生徒の自宅をつないで行われたオンライン模擬裁判。パソコン画面に映る法服姿の裁判官役の指揮に従い、検察官、弁護人などの立場で有罪、無罪を主張した(16日)

は立証の構図を描き、弁護側はどう崩すかを考える。裁判官は真つさらな気持ちで訴訟を指揮

してほしい」と助言した。

この後、生徒は模擬裁判当日の16日に向け、裁判官、検察官、弁護人のグループごとにオンラインミーティングを重ねた。札基さんらも時間を合わせて参加。検察官グループは①被告人が持っていた3万円が被害額と一致する②犯人のものと思われる車に乗り込もうとした――などを根拠に立証する方針を決め

#### ◆窃盗事件の設定◆

午前5時頃、書店経営者が自宅兼店舗のシャッターが上がる音で目を覚まし、店のレジを開けている男を発見した。男は現金3万円を盗み、半開きのシャッターをくぐって逃走した。通報で駆けつけた警察官が店の前で経営者と話をしていると、白っぽいTシャツにジーンズ姿で、犯人に似ている男が、止めてあった車に乗り込もうとした。事情を聞いたところ、ポケットから現金3万円が見つかり、盗みの疑いで逮捕した。

た。対する弁護人グループのオンラインミーティングは前日の15日、深夜に及んだ。

模擬裁判の法廷で被告人は無罪を訴えた。弁護人は「被告人は近くの友人宅に用があり書店の前に車を止めた」「3万円は友人から返してもらったものだ」と反論。被告人は定が不自由で素早く動けないことも明らかにした。求刑は懲役1年。裁判官は無罪を言い渡した。

終了後、裁判官役の山添龍佳さん(17)(3年)は「物事を多角的に見ることが大切だと感じた」と振り返った。オンライン活用について生徒からは「対面の方が話をしやすい」「オンラインは時間や場所を気にせず取り組める」などの声が聞かれた。杉浦さんは「オンラインは移動の距離や時間の問題を解消し、様々な人と意見交換できる。対面と使い分けることで授業の幅が広がる」と話している。